



【お知らせ】

令和2年11月19日

統合幕僚監部

日米韓参謀総長級テレビ会議について

統合幕僚長山崎幸二陸将は、令和2年11月19日（木）、米統合参謀本部議長ミリー陸軍大将及び韓国合同参謀本部議長ウォン空軍大将と、日米韓参謀総長級会議をテレビ会議形式で行いました。

本テレビ会議には、デービッドソン米インド太平洋軍司令官、エイブラムス在韓米軍司令官、シュナイダー在日米軍司令官も参加しました。日米韓の参謀総長級の会合は、昨年11月のテレビ会議以来、約1年ぶりです。

会議において、三者は、北東アジア地域の長期的な平和と安定に資する3カ国の防衛協力について協議しました。

山崎統幕長からは、法と秩序に基づくインド太平洋地域の平和と安定の実現のため、また、北朝鮮への対応について、違法な「瀬取り」への対応を含め、すべての関連する国連安保理決議の完全な履行のため、日米韓3カ国で連携することの重要性について発言しました。ミリー米統合参謀本部議長は、米国の日本と韓国の双方に対する抑止力の提供に係る強固なコミットメントを再確認しました。また、ウォン韓国合同参謀本部議長は、朝鮮半島の完全な非核化と恒久的な平和を確立するために3カ国が密接に協力することの重要性について強調しました。

三者は、「自由で開かれたインド太平洋」というビジョンを共有し、地域の平和と安定を増進するために、3カ国の防衛協力を更に強化するとともに、共通の安全保障上の課題に対し引き続き共に取り組んでいくことで一致しました。

